

もっと知りたい！

葉山町と同規模の他の町では？

《大磯町》平塚市との広域処理を進めています

大磯町では広域処理の場合と単独処理の場合の経費比較をして、広域処理の方が20年間で約43億7千万円も経費節減できると試算しています。

広域処理経費(20年間)	2,679,140千円	この中には、施設建設費、施設維持管理費、施設解体費が入っています。
単独処理経費(20年間)	7,045,200千円	

《二宮町》4年前に脱退したが、新しい町長が広域処理に復帰

去る3月31日の報道によると「平塚市と大磯町、二宮町は30日、ごみ処理の広域化計画に二宮町が復帰し、共同で取り組む覚書に署名した、と発表した。2006年に計画から脱退した二宮町の坂本孝也町長は『復帰できて感謝している。今後は応分の責任と負担を確実に実行してまいります』と述べた。来年6月に実施計画をまとめるが、二宮町はリサイクル処理や不燃物処理などを分担する」(朝日新聞より)ということです。

二宮町は4年前の2月、平塚市と大磯町とごみの広域処理の基本協定を結びましたが、同年9月最終処分場の分担などをめぐって脱退しました。二宮町は3年余を費やして、復帰する道を選んだこととなります。

■同規模自治体・近隣地域とのごみ処理費比較

	人口(人)	ごみ処理費(千円)	一人当たり(円)	一トン当たり(円)
葉山	32,234	931,432	24,990	68,498
大磯	32,837	600,368	18,283	46,922
二宮	29,585	491,652	16,538	51,704
逗子	61,415	888,120	14,249	45,987
三浦	49,014	895,387	16,965	43,510
県平均			12,148	38,132

平成20年度神奈川県一般廃棄物処理事業の概要より(神奈川県環境農政部廃棄物対策課、平成22年3月発行)

ごみ焼却炉の排ガスは大丈夫？

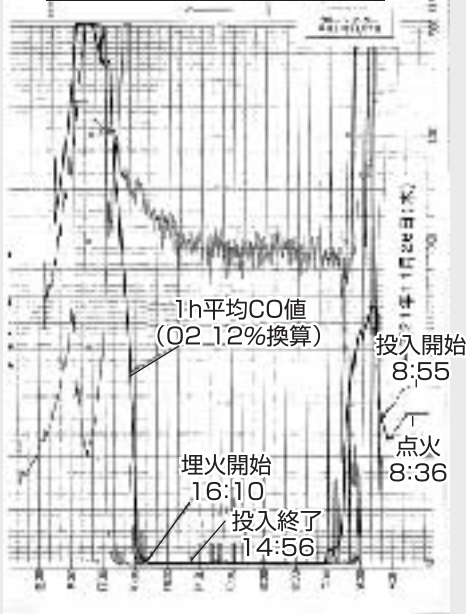
昨年、町議会のごみ問題特別委員会に提出された右の資料から、町のごみ焼却炉から非常に高濃度のCOが排出されていることが判明しました。特に火を落とし始め(埋火)してから約2時間は500ppmを超えるCOが記録されています。また、パーク・ド・四季の住民の方からは、風向きによってごみ焼却の異臭がすることがあるとの苦情が寄せられています。さらに、県行政センターからは厳しい指導を受けています。

焼却炉に厳しい指摘！ 神奈川県の立入検査

平成19年7月から22年2月までの間に受けた立ち入り検査は8回。熱しゃく減量が基準不適合、CO濃度が不安定で基準超過、燃焼室の外気遮断不適合、再燃焼室のガス温度(800℃)不足等々、施設の構造・維持管理に関する不具合が繰り返し指摘されてきました。

その都度改善が行われてはきましたが、平成20年6月の県の内部報告には、改善計画や改善状態によっては「施設の改善命令、炉の停止命令を考えている」、また「広域化を離脱して単独で処理を行うとすると、一体どのようにしていくのか」と記載されています。

ごみ問題特別委員会参考資料



「葉山町ごみ焼却炉のダイオキシン測定に関する陳情書」提出される

健康被害を心配した町民から、本年3月、平成22年度予算審議中の町議会に「葉山町ごみ焼却炉のダイオキシン測定に関する陳情書」が提出されました。

町長は、築後34年という一昔前の技術で建てられた現焼却炉を今後も使い続けるといっています。この陳情書は、4月以降、ごみ問題特別委員会で審議されます。

大変気懸りな問題です。審議をしっかりと見守りましょう。

注目！5月にパブリックコメント《一般廃棄物処理計画案》

22年度予算審議の本会議で、成島生活環境部長は本年5月に一般廃棄物処理計画の案をパブリックコメントにかけると明言しました。

現在森町長が進めている「ゼロ・ウェイスト政策」は、単なるごみの減量計画です。廃棄物処理に対する町の責任と処理施設の整備に言及しない計画は一般廃棄物処理計画ではありません。県下一高いごみ処理費の町の汚名が返上できる計画になるよう見守り、声をあげていきましょう。

ごみの減量も分別も、町民の理解と協力がないとできません。各地域での説明会の開催を強く求めています。

【一般廃棄物処理計画とは】

廃棄物処理法では、一般廃棄物を適正に処理することは市町村の責務であるとして、そのための計画の策定を市町村に義務づけています。そして、この計画には、一般廃棄物(ごみ)の発生量と処理量の見込み、ごみの排出抑制の方策、分別収集するごみの種類と分別の区分、ごみの処理施設の整備等について定めることとしています。

葉山町の焼却炉が壊れたらどうなるの？

町長は、民間業者に委託するといっています。

これは市町村が責任をもって処理すべきとする廃棄物処理法の趣旨に反します。そればかりか、業者任せは安定かつ確実な処理に不安があるうえ、さらに高額になります。

葉山町単独でごみ処理をする場合、法の趣旨からも町内にごみ処理施設を建設することが必要です。この場合、どのくらい建設費用がかかるか、どこに建設するかが大きな問題になります。建設費用は、国の助成が受けられないこともあって単独施設の方が割高になります。いちばん問題になるのが建設場所です。議員の中には、町単独で小型の焼却炉をつくらなければならないという人たちがいますが、葉山町内の一体どこに建設するのでしょうか？

因みに、町長が離脱した横須賀・三浦市との広域処理の計画では、焼却施設は横須賀市内につくることになっていました。

ごみ問題から葉山を救う会から町民の皆さんへの訴え

築後34年の古い焼却炉と手狭なクリーンセンターを使い続ける限り、町民の私たちががいくらごみを減量し、分別しても町のごみ処理費は県下一高いままです。周辺地域の環境汚染も心配です。

町民の貴重な税金が、ごみと一緒に燃やされている状態を放っておくことはできません！町民の福祉や教育、文化等にもっと有効に活用されるべきです。小規模の自治体の葉山町が単独で施設を整備することは国の補助金もなく、土地もなく、炉の規模・性能等の観点から無理です。

一刻も早く、近隣自治体との共同ごみ処理政策に転換することが必要です。町長に、職員に、そして議会に迫りましょう。政策転換が遅れば遅れるほど町の税金は失われ、近隣自治体との連携の可能性も狭まります。

来年4月は、町議会議員選挙です。ごみ処理政策などについて、どの議員が本当に町民のために働いてくれるか、今から厳しい目を向けていきましょう！

第3回ごみ問題フォーラム

葉山のごみ問題の解決に向けて知恵を出し合ひましょう。

日時/5月22日(土)午後2時～4時

場所/福祉文化会館大会議室

参加費/無料(資料代200円)

当会の趣旨に賛同いただける方は
ご連絡ください。

TEL・FAX 046-875-3270

支援金の振込先

横浜銀行 葉山支店(普) 1193830
ごみ問題から葉山を救う会 岩崎正巳

